

—若手技術者のコーナー—

これまでの職務経験を活かして

1. はじめに

金沢市は、石川県のほぼ中央に位置し、南部を白山山系から連なる山地が占め、北部は平野を経て日本海に臨んでいる。まちの中心部には歴史的なまちなみが残り、伝統芸能や工芸、食文化が市民の暮らしの中に今も息づいている。

私は関西（大阪・京都・奈良）で育ち、大学を出て、建設会社に就職した。それから11年間、様々な工事現場で現場監督として実務経験を積む中、自然豊かで歴史あるまちなみがたたく金沢に魅了され職務経験者採用試験を受け、2015年4月より金沢市職員を拝命した。現在、金沢市企業局の建設課配属4年目であり、金沢市職員としてはまだ経験が浅いため、若手技術者のコーナーに投稿した。

2. これまでの仕事を振り返って

1) 前職の仕事

民間で勤めていた時代を改めて振り返りたいと思う。私は、現場監督として測量や施工管理を行い、土木構造物の建設に携わってきた。

1年目はダム建設（中越地震復旧）、2～7年目は山岳トンネル建設（北陸新幹線、金沢市内幹線道路）、8～11年目は防潮堤の築造や老朽化した発電所・排水機場の改築等に従事した。

ここで、前職で大切にしていた言葉（社是）を紹介したいと思う。

「誠実」

事業をやっていくからには、儲けなければならない。だが、儲けることばかり考えていたのでは、事業は永続きしない。そこに真心があり、心の触れ合いがあってこそ事業は永続し、発展する。

「意欲」

仕事、それは自分との戦いである。己を鞭打つ「意欲」に欠けては仕事は出来ない。要は“やる気”である。「意欲」それは仕事においても、人生においても不可欠な心の糧である。

「技術」

他人をまねするより、他人がまねたがる「技術」それを売りにすること。

2) 現職の仕事

現在の建設課では、主に下水道管改築における調査・工事に伴う設計積算・工事監督に従事している。今後の老朽化の進展状況を考慮し、リスク評価等による優先順位付けを行った上で、施設の点検調査・修繕・改築を行うというものである。早めに改築を行うことで、道路陥没や下水の流出事故を未然に防止することができ、安心安全なまちづくりにつながっている。

3. 職務経験を活かして

現在、建設業は人手不足の中、働き方改革や生産性向上が取りざたされている。そうした中で、今までの経験を活かし、業務を行う上で効率的な方法を模索しながら、生産性の向上につなげている。

また、工事が適切に行われているかを確認するため、現場にはなるべく足を運ぶよう心がけている。現場代理人とコミュニケーションを取ることで、安全管理や施工管理が確実に実施されているかを確認することができる。そして、現場でお会いした地元の皆様には、工事について分かりやすく説明することで、ご理解を得られるよう務めている。

今後は、これまでの経験に一層の磨きをかけ、技術士等の上位資格取得に努め、自己研鑽に励み、市政発展に貢献していきたいと考えている。



下水道管築造現場 立坑内にて

(金沢市 企業局 建設課 和泉 昌樹)